



学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」

校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」 R 4. 8. 9 発行 文責 校長 松崎大樹

長崎に原爆が投下されてから77年目の夏、「平和集会」を開催。

8月9日は、この長崎県に生まれた私たちが、

「平和」についてしっかり考えるための大切な一日です・・・。

平和集会講話より

77年前の8月9日、真夏の太陽が照りつける昼前。日本の戦況はより厳しさを増す中ではありましたが、いつも通りの一日が始まり、戦火の中でもたくましく生きていく人々の姿、そして生活がそこにはあったはず。生徒のみなさん、あなたや大切な家族がそこにいたらと想像しながら聞いてください。

午前11時2分、米軍機であるB29「ボックスカー」が投下した一発の原子爆弾「ファットマン」が、長崎市松山町の上空約500mでさく裂しました。目くらむ一瞬の閃光。セ氏100万度を超える火の玉から、長崎の街に強烈な放射線と熱線、そして猛烈な爆風が襲いかかりました。立ち昇ったキノコ雲の下で何の罪もない多くの命が奪われ、町は一瞬にして破壊されました。「熱いよ! 痛いよ!」。つぶれた家の下からは母親に助けを求め叫ぶ子どもの声。「水を、水を下さい!」。息絶え絶えのうめき声、うなり声。あとには、黒焦げの亡骸(なきがら)、全身が焼けただれた人、内臓が飛び出した人、無数のガラス片が体に刺さり苦しむ人があふれ、長崎は地獄と化しました。

このように、戦争末期の1945年8月6日に広島、そして、9日には長崎に、世界で初めて原子爆弾が投下され、広島では約14万人、長崎では約7万5千人が亡くなりました。そして、8月15日には日本が無条件降伏して戦争が終わりましたが、この戦争で、日本全体では約310万人の尊い命が失われました。また、この戦争が終わって77年になりますが、広島や長崎で被爆した人々の中には、今もなお、その後遺症に苦しんでいる人がいるのも事実なのです。

戦争は、最も人権を踏みにじる行為です。

そして、今、この瞬間にも、ロシアによるウクライナ侵攻においては、ウクライナ人、そして、ロシア人の尊い命がたくさん奪われています。また、この戦争を通しては、ロシアは核兵器の使用も辞さないと脅しを世界にかければかりか、当事者でない国の人々さえ、身を守るためには核兵器が必要だと言い始めています。とても危険なことだと思います。

しかし、今の日本は、平和で、食べるものや着るものに不自由しない豊かな時代を長く迎えており、戦争当時の苦しさや厳しい生活の状況を、想像したり、感じ取ることは、なかなか難しいことだと思います。さらに、被爆者や戦争体験者の方々の高齢化が進み、残念ながら当時の様子を直接聞く機会も著しく減少してきているのです。

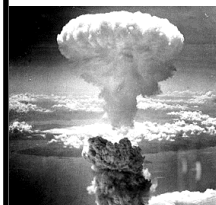
このような状況の中で、平和な社会に生きる私たち自身が、自分の問題として負の遺産である過去の「戦争」の歴史や「原爆」について真剣に学び、現在、そして未来へつながる平和や命の大切さについて、真剣に考えることはとても大切なことだと考えます。(中略)みなさんは、間違いなく、これからの時代を生き、これからの日本、これからのグローバルな社会を作り上げていく大切な人材です。

そして、8月9日は、この長崎県に生まれた私たちが、「平和」についてしっかり考えるための大切な一日です。

77年前のこの長崎で起きた事実と被爆者の方々の思い、そして、本日の「郡中学校平和集会」で学び、心に感じたことをもとに、みなさんにはこれからの時代を生きる人類の一人として、「平和」についてしっかりと考え、その実現に向けて力を尽くしてほしいと思っています。

生徒のみなさん一人一人の「平和」を思う気持ちは、決して無力ではないこと。この世界を「平和」に導く光となることを固く信じながら、平和集会における校長講話とさせていただきます。

令和4年8月9日 大村市立郡中学校 校長 松崎大樹



長崎に投下された原子爆弾のキノコ雲



原爆投下後の山王神社



長崎原爆ファットマン(模型)原爆資料館展示



爆心地1.8キロの路上で被爆した谷口稜嘩さん(当時16歳)



手当を受ける動員女学生



原爆で大きな被害を受けた山里国民学校

【平和集会式次第】

- 1 はじめの言葉 (人権・平和副委員長)
- 2 校長先生の話
- 3 平和意識アンケートの結果・分析発表
- 4 1年生平和学習発表
- 5 郡中学校平和宣言発表 (人権・平和委員長)
- 6 振り返り記入
- 7 黙祷
- 8 終わりの言葉 (人権・平和副委員長)

令和4年度「郡中学校平和宣言」(抜粋)

郡中の全員が、平和で、笑顔ですごすことができるために、私たちは以下の4つのことを大切にします。

- 一、私たちは、お互いに自分の言葉や行動に責任を持ち、相手の気持ちを尊重します。
- 一、私たちは、互いの個性を認め合い、平等に接します。
- 一、私たちは、お互いに助け合うことのできる仲間作りをします。
- 一、私たちは、戦争や核兵器を許さない心を持ちます。

この4項目を忘れず、一人一人が平和を目指す心を大切に、郡中学校平和宣言とします。

令和4年8月9日 大村市立郡中学校生徒一同



本日の「郡中学校平和集会」で学び、心に感じたことをもとに、みなさんにはこれからの時代を生きる人類の一人として、「平和」についてしっかりと考え、その実現に向けて力を尽くしてほしいと思っています。

令和4年度 長崎県中学校総合体育大会終了！ 大きな感動をありがとうございました！

祝 全国・九州大会出場

陸上競技 共通男子4×100mR

第1位 佐藤 翔・安藤直哉・田口真惺・中島旭陽

相撲競技 個人戦 第1位 大満朋晃

祝 九州大会出場

柔道競技 男子73kg級 第2位 吉田悠耶

水泳競技 200m個人メドレー 第2位 犬塚葉那

陸上競技 共通女子200m 第2位 岡本怜佳

陸上競技 共通男子200m 第2位 安藤直哉

陸上競技 共通男子走高跳 第2位 田口真惺

令和4年7月23日(土)～26日(火)にかけて、「令和4年度 長崎県中学校総合体育大会」が県内各地の大会会場で開催され、熱い熱い戦いが繰り広げられました。

本校からも大村市中総体を勝ち抜いた86名の選手が出場し、真剣な眼差し、チーム一丸となったプレーで、手に汗握る白熱した試合をたくさん展開してくれました。選手の皆さん、大きな感動をありがとうございました！ この貴重で、大切な経験を、これからの学校生活の糧にして、さらに飛躍してください！

そして、さらに、九州大会、全国大会へ駒を進めることができた選手の皆さん、本当におめでとうございます。夢の大舞台で更なる活躍を大いに期待しています。選手に皆さんのことを、チーム郡として全生徒・全職員で応援したいと思います。頑張れ～！



もうすぐ2学期がスタートします！

もう一度、生徒代表の「1学期の振り返り」に耳を傾け、
2学期の新たな飛躍につなげていきましょう！(抜粋して掲載しています。)

3年生生徒代表 西山 大稀

まず、この1学期を通して、良かった点は、大きく2つあります。1つ目は、修学旅行を通して学年全体がまとまったことです。友人との食事や班活動を通して仲間としての絆を深めることができました。2つ目は、授業に取り組む姿勢が改善されたことです。今年は3年生にとって「受験」という大きな壁が待ち受けています。受験への意識が高まったことで意欲的に授業へ参加する人が増えてきたように感じます。しかし、反省点もあります。クラス全体としてメリハリがなく、授業前の二着一黙ができていない時がありました。先生方から「受験での面接は、普段の生活態度がそのまま出る」と教えていただき、日頃からの行動に責任を持つこと、自分だけでなく周りの人のことも考えて行動することが大切だと思いました。当たり前のことを当たり前に取り組み、最高学年として後輩に手本を示しているようにしたいです。「3年生としての自覚をしっかり持って行動する・・・」一人一人がこの意識を持ち行動することによって、必ず3年生全体がもっと良い方向へ変わっていきけると思います。

2年生生徒代表 梅津 宗朔

1学期、2年生全体を見たときに僕が感じたことは、1つのことをみんなで協力し合ってやり遂げられることがとても良いことだと思いました。例えば、体育大会のダンスの練習でわからないところを教え合ってみなで1つの素晴らしいダンスにしよう頑張っているところです。しかし、課題点もありました。それは授業のメリハリがなかったり、先生からの問いかけへの声小さかったりしたことです。良い授業にしよう、みんなで意見を出し合う中で発言や態度がエスカレートし、先生に注意されることが度々ありました。さらに、登下校中の交通マナーが悪かったりして、先生方だけではなく、地域の方々へ迷惑をかけてしまいました。このような課題点から、2学期は、後輩を引っ張っていきけるような自覚を持つことが必要だと思いました。2学期には体育大会や合唱コンクール、2年生は修学旅行が予定されています。これらの行事を成功させ、良い思い出にするためにみんなで協力し合い、一致団結することが大切になってきます。楽しく取り組む中で、一人一人が心がけていきましょう。

1年生生徒代表 夏目 歩佳

私は1学期を振り返って頑張ったことが二つあります。1つ目は、勉強です。私は勉強が苦手で、初めての期末テストが不安だったので、計画を立てて、2週間前からテスト勉強に取り組みました。勉強を進める中で工夫した点は、自分で問題を作って何度も解き、やり直すという方法で学習したことです。間違いをすぐに直すことが出来ました。反省点は、教科や単元が偏ってしまったことです。また、計画性が足りず予定していた学習で実行できなかったものもありました。次のテスト勉強では、優先順位をよく考えて計画を立て、自分の自信につながるような取組をしたいと考えています。2つ目は、自分の仕事に責任を持って取り組むということです。私は、学級では総務委員として、声かけや学級活動の司会等に取り組んでいます。私の学級の良いところは男女差別がなく、クラスのみんなの仲が良いところです。しかし、授業の雰囲気や崩れていて、まとまりがないという課題もあります。そのために、2学期は総務委員としてクラス全体への声かけに取り組む、仲の良さを活かした団結力があり、全員が学級の課題と向き合えるクラスになるように頑張りたいです。

生徒会代表 濱崎 遼平

今日で1学期が終了です。みなさんは、どのような1学期を過ごしましたか。新しいクラスで緊張や不安・期待の入り交じった気持ちで、迎えた1学期、勉強に部活に多忙な日々を送ってきたかと思います。一年生のみなさんは、中学校生活に慣れるまでに大変だったかもしれません。2・3年生の勉強に関しては、今までの知識に加え、さらに新しいことを習得しなければならず、日々努力の毎日だったと思います。また、部活動に関しては、最大の大会である中総体が行われました。1つでも多くの勝利を目指して遅くまで練習し、頑張っている姿はとてもカッコ良かったです。校内行事では、生徒総会が行われました。学級討議では、各学級が一致団結し、意見をまとめることが出来ました。そのおかげで、生徒総会は活発な話し合うことが出来ました。皆さんの声を実現できるよう生徒会スローガン「NOVA私たちの声を行動に」を胸に刻みながら、代表者会に向けて準備していこうと思っています。さて、2学期には、体育大会や合唱コンクール等、たくさんの行事があります。1学期以上にみんなで力を合わせてチーム郡で記録にも記憶にも残る行事を創り上げましょう。

